



救急車の適正利用にご協力ください



救急車を利用する前に

徳島市の統計上、過去10年間で搬送された人のうち、約半数が軽症(入院を要しない)と診断されています。

◆救急医療の受診について

症状に緊急性がないにもかかわらず、「交通手段がない」「どこの病院に行けばよいかわからない」「便利だから」と救急車を呼ぶ人がいます。また、「平日休めない」「日中は仕事がある」「明日は仕事」などの理由で緊急外来を夜間や休日に受診する人もいます。

救急車や救急医療は限りある資源です。いざというときの皆さん自身の安心のために、救急医療の受診について考えてみましょう。

【実際にこうしたケースで救急車が呼ばれました】

- ・血は止まっているが紙で指を切った
- ・病院でもらった薬がなくなった
- ・海水浴に行って日焼けした足がひりひりする
- ・病院で待つのが面倒なので、救急車を呼んだ——など

◆迷った場合はご相談ください

救急車の適正利用について▼

救急車を利用するか迷った場合、まずはかかりつけ医にご相談ください。また、休日や夜間で判断に迷ったときは、電話医療相談や救急受診アプリQ助(下記内容参照)をご利用ください。



判断に迷ったときにご利用ください

◆電話医療相談

休日・夜間に急病で「病院を受診した方がいいか」「救急車を呼ぶべきか」など、判断に迷ったとき、医師や看護師が電話でアドバイスします。

■徳島救急医療電話相談

#7119または(☎622-6530)

■徳島子ども医療電話相談(15歳未満)

#8000または(☎621-2365)

【相談時間】(#7119、#8000共通)

▶月曜～土曜日＝18:00～翌朝8:00

▶日曜・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)＝24時間対応

◆全国版救急受診アプリ「Q助」

医療機関を受診するタイミングや受診方法などが分かるアプリ。症状など必要な情報を選択すると対応方法が表示されるほか、医療機関、受診手段の検索ができます。

詳しくは、総務省消防庁ホームページをご確認ください。



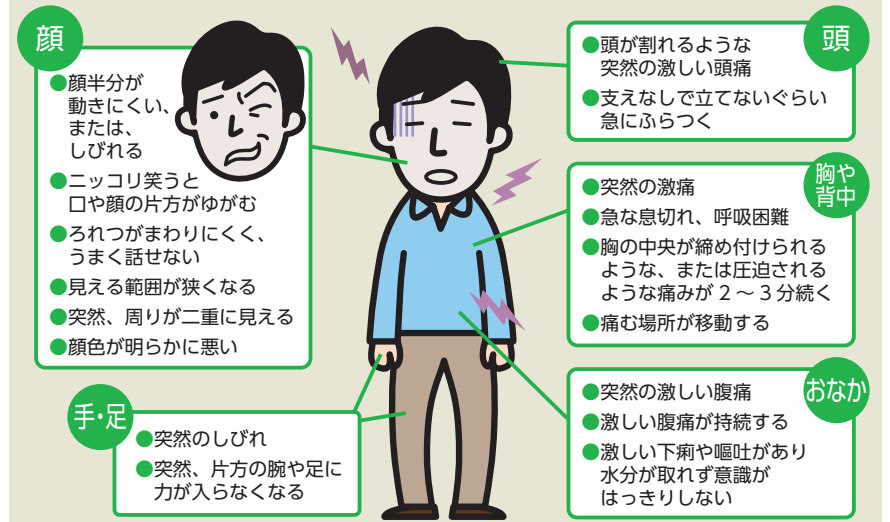
全国版救急受診アプリ「Q助」▲

徳島市内の救急出動件数は、14,747件(前年より70件減)で、出動理由は1位「急病」9,379件、2位「一般負傷」2,287件でした。救急車の出動が増えると、現場から遠くにいる救急車が出動することになり、到着まで時間がかかることがあります。大切な命、救える命を救うため、救急車の適正利用にご協力をお願いします。



こんな時はためらわず119番！

次のような場合は、重大な病気の可能性があるため、ためらわずに119番通報してください。



◆救急車を呼んだら用意しておく便利なもの

- ☐ マイナンバーカード ☐ マイナ保険証または資格確認書 ☐ 診察券
- ☐ お金 ☐ 靴 ☐ 普段飲んでいる薬(おくすり手帳) ——など

【乳幼児の場合】

- ☐ 母子健康手帳 ☐ 紙おむつ ☐ 哺乳瓶 ☐ タオル ——など

◆救急車が来たらこんなことを伝えてください

- ☐ 事故や具合が悪くなった状況 ☐ 応急手当をした場合はその内容
- ☐ 具合の悪い人の情報(持病、かかりつけの病院やクリニック) ——など

救命講習を開催しています

救急車が来るまでに行う応急手当を勉強するのが救命講習です。

市消防局では、心肺蘇生法やAEDの使用法、その他の応急手当の知識・技術を習得してもらうため、救命講習を開催しています。もしもの時のために、救命講習を受講して応急手当の方法を覚えましょう！

◆普通救命講習(心肺蘇生法などの応急手当)

【とき】毎月第3日曜日13:00～15:00

【ところ】奇数月＝東消防署(新蔵町1)、偶数月＝西消防署(庄町1)

【申し込み方法】開催日の1週間前までに、電話またはファクスで消防局警防課へ

詳しくは、市ホームページをご確認ください。



【問い合わせ先】消防局警防課(☎656-1192 ☎656-1201)

